



「酷暑日」・「煉獄日？」

今年の夏は本当に暑く、猛暑日の日数は東京都心で29日と過去最多になりました。2020年は11日、2023年は22日、2024年は20日ですから、ここ数年で一気に異常な暑さとなりました。さらに、今年は全国各地で最高気温が40℃を超える地点がいくつか見られ（のべ30地点で過去最多）、歴代最高気温も41.8℃（群馬県伊勢崎、2025年8月5日）を観測しました。

気象庁の予報用語では、日最高気温が35℃以上の日を「猛暑日」、夜間の最低気温が25℃以上のことを「熱帯夜」として定義していますが、日最高気温が40℃以上の日、夜間の最低気温が30℃以上の夜の表現については現在定義されていません。近年の異常な暑さを踏まえ、気象庁は日最高気温が40℃以上の日を指す名称の新設について検討を始めたとのこと。

民間では、日本気象協会が40℃以上の日を「酷暑日」、夜間の最低気温が30℃以上の夜を「超熱帯夜」と呼んでいますので、気象庁でも「酷暑日」を採用すると思われます。（2026年運用開始）

ちなみに、酷暑日以上となると、炎熱日（えんねつび）とか、煉獄日（れんごくび）という言葉もささやかれており、アニメ「鬼滅の刃」の炎柱・煉獄杏寿郎（れんごくきょうじゅうろう）を連想させますね。「心を燃やせ」は名言ですが、地球は燃えなくていいのに……。なお、煉獄さんの誕生日は5月10日とのことで、意外と夏生まれではなかったようです。

日本畜産学会 第133回大会

さて、話は変わりまして、まだ蒸し暑さの残る2025年9月12日から15日にかけて、岐阜大学（岐阜県岐阜市）で日本畜産学会・第133回大会が開催されましたので、簡単に報告します。なお、日本畜産学会は、昨年の京都大会で100周年を迎えた歴史ある学会で、学術大会は以前は春と秋の年2回開催されていましたが、2022年度以降は秋のみの開催となっています。



まず、今年度の日本畜産学会賞ですが、北海道大学の小池聡教授（反芻家畜の消化管細菌叢の分子生態学的研究）と、広島大学の杉野利久教授（乳生産効率の向上につながる飼養管理学的研究）が受賞されました。その他のトピックスとしては、家畜の生産性改善（疾病やストレスの低減、育種改良など）、環境負荷低減（メタンや窒素排泄の抑制、エコフィードの活用）、畜産物の付加価値向上（おいしさや機能性）、暑熱対策や飼養環境の改善など多岐に渡り、約280題の優秀発表・一般口頭発表がありました。

また、公開シンポジウム「持続可能な畜産を目指して～温暖化を防止する技術の最前線～」（主催；日本畜産学会、日本学術会議食料科学委員会畜産学学科会）では、当該分野の研究の第一人者の先生方による講演が行われました。

地球温暖化の要因の1つである温室効果ガス（GHG）のうち、畜産分野から発生する主なものとして、反芻家畜のげっぷに含まれるメタンと、家畜の糞尿から発生する一酸化二窒素（ N_2O ）がありますが、最新の技術や知見として、反芻家畜のルーメン内メタン発生を抑制する資材の開発、メタン発生の少ない牛の育種、飼養管理の改善、飼料の工夫（アミノ酸バランス改善飼料＝飼料のタンパク質を減らしつつ不足した分はアミノ酸で調整）などが紹介されました。また、メタン抑制は環境負荷の軽減のみならず、乳生産性を改善することで生産者の収益向上にも貢献することや、代謝プログラミング（新生児期の栄養調整による肥育や産肉性向上）の考え方、デジタルネイティブ世代（生まれた時からデジタル技術（インターネットやパソコン）が身近にあり、それを当たり前のように使いこなす環境で育った世代）向けのIoT・AIを活用した飼養管理や新しい畜産システムの構築なども提案されました。

まさに酷暑時代を迎えた地球環境に対し、温暖化にストップをかけつつも持続可能な畜産を支えるために私たちが何をすべきかが示されたシンポジウムであったと思います。

信長公 と 岐阜

さて、せっかくの機会ですので、私の地元「岐阜」について少し補足させていただきます。

「岐阜」という地名ですが、戦国時代の1567年、斎藤道三公の居城であった稲葉山城を攻略した織田信長公が、この地方一体を平定した際に「岐阜」と改称したことに由来します。そんな岐阜のシンボルである信長公は、岐阜市制120周年を記念して市民の寄付により建立された「黄金像」（像の高さは約3mで金箔3層張り）として、JR岐阜駅前にそびえ立っています。全国の魅力度ランキングでは決して上位にはならない岐阜ですが、岐阜城だけでなく、城下町の名残が残る川原町や温泉、約1300年の歴史をもつ長良川の鵜飼などがあります。信長公は、もてなし好き、もてなし上手だったそうですが、宣教師ルイス・フロイスとの別れ際に告げたそうです。「美濃には何度でも訪れよ」と。



ここ数日でようやく暑さが落ち着いてきました。今年豊漁のサンマなど秋の味覚を楽しみながら、猛暑で疲れた体を労わりたいですね。（O）

お知らせ

印刷用の PDF ファイル

印刷用に PDF ファイルを添付しました。PDF ファイルをご利用いただくためには、Adobe Reader が必要です。お持ちでない場合、[こちらからダウンロードし、インストールしてご利用ください。](#)

メールマガジンへの登録・ご質問等

メールマガジンの配信の停止や登録内容の変更、お問い合わせ、ご意見・ご要望等々は[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページをご利用ください。

アドレス変更をお忘れなく

人事異動、転退職等でメールアドレスが変更になった場合で、引き続き日産合成工業株式会社のメールマガジンの配信を希望される方は、旧アドレスと新アドレス及び新所属等を[当社のウェブサイト](#)のトップページにある「お問い合わせ」のページを利用してお知らせください。配信できなくなったアドレスは、メーリングリストから自動的に削除しておりますので、よろしくお願いします。

QR コード

QR コードから、[当社のウェブサイト](#)のトップページにアクセスできます。

